

東海市社会福祉協議会ボランティアセンター45年あゆみ

市内のボランティア活動が大きく咲き始めました！

昭和55年
56年
57年
58年
60年
63年
平成元年
2年
4年
5年
7年
9年
10年
11年
12年
13年
15年
16年
17年
18年

- 昭和55年
 - ・昭和55年1月東海市ボランティアセンター開設
 - 「思いやりの心・他人の痛みがわかる心」
 - ・声の広報第1号が視覚障がい者に届けられた
 - ・ボランティア講座「点字・手話」(～現在)
- 56年
 - ・国際障害者年宣言
 - ・第1回とうかひの福祉展開催
 - 「市民に広くこれからの社会福祉について創造してもらおうことが目的」
 - ・声のボランティア養成講座(～現在)
- 57年
 - ・北九州集中豪雨被災者への救援募金運動
 - ・声の広報第1号が視覚障がい者に届けられた
- 58年
 - ・愛知県福祉協力校
 - ・緑陽小学校から福祉実践教室始まる
 - ・第1回ふれあいコンサート開催
 - ＊障がい者と市民みんなて音楽を聴きながら交流
- 60年
 - ・おもちゃ図書館開設
 - ＊障がい児を対象に遊び場とおもちゃの提供
- 63年
 - ・手づくりおもちゃ教室(～H22)
 - 「温かみのある手づくりおもちゃ」
 - ・ボランティアルーム開設
 - ・ハッピーフェスタとうかひ開催(とうかひの福祉展から改名)
 - 「で愛ふれ愛たすけ愛未来にはばたけハッピーフェスタ」
- 平成元年
 - ・ボランティアの葉「ハローふれ愛」発刊
 - 「ボランティアの基本・登録団体・個人活動紹介冊子」
- 2年
 - ・ボランティアセンター設立10周年
- 4年
 - ・福祉フェスティバル(ハッピーフェスタとうかひから改名)
 - 「やさしい心でホットな出会い」
 - ・ボランティア連絡協議会(準備会・視察研修)
- 5年
 - ・ボランティア連絡協議会誕生(H19年解散)
 - 「ボランティア同士の交流・連携を深め、福祉の向上を図る」
- 7年
 - ・ボランティア元年
 - 「ボランティアに関心を持つきっかけとなった」
 - ・阪神淡路大震災発生
 - ・第1回ふれあい広場開始(～H14)
 - 「交流を深める場」ミニ運動会を開催
- 9年
 - ・ボランティアセンター「しあわせ村」に移転
 - 福祉フェスティバルから「しあわせ村まつり」に改め開催
 - 「しあわせの扉をひらくフェスティバル」
 - (市民に福祉が浸透し目的が果たせたため平成24年に終了)
- 10年
 - ・特定非営利活動促進法施行
 - ・ボランティア相談窓口開設(～現在)
 - ・救援ボランティア活動マニュアル完成
- 11年
 - ・ボランティアセンターシンボルマーク決定
 - ＊このマークは、「やさしさ」と温かさをハートで表現し、両手で包み込む様子をイメージしたものです。
- 12年
 - ・ボランティア情報掲示板設置
 - ＊市内公共施設・市民館・企業・小中高등학교
 - ・ボランティアセンター設立20周年
- 13年
 - ・移送サービス開始(～現在)
 - ＊高齢者や障がい者の外出支援
- 15年
 - ・わくわく！科学実験教室開始(～現在)
- 16年
 - ・第1次ボランティア・市民活動計画(16年～20年)
 - 「やさしい心 おもいやりの心 たすけあいの心 さあはじめようあなたが主役っ！」
 - ・新潟県中越大地震災害救援活動職員派遣
- 17年
 - ・介護保険制度改正
 - ・予防重視型システムへの転換
 - ・おもちゃ図書館設立20周年記念事業
 - 「みんなで遊びにきてね、子どもも大人もわくわく！できる場所」
 - ・防災・災害マニュアル発行
 - ・災害時要援護者支援事業
- 18年
 - ・災害ボランティアセンター設置・運営訓練開始(～現在)
 - ・防災・災害救援マニュアル実践版発行
 - (災害救援ボランティアセンター運営・災害時要援護者支援)



一歩(ボランティア活動へ) 知る(きっかけづくり) 動く・楽しむ(できる) ことから始める()

19年
20年
21年
22年
23年
24年
26年
27年
28年
29年
30年
令和元年
2年
3年
4年
5年
6年
7年

- 19年
 - ・ボランティアスタンプ事業開始(～H26)
 - みなさんが無理なく、楽しく、やりがいを持って続けるボランティア活動を応援
 - ・第16回全国ボランティアフェスティバルあいち・なごや開催
 - 「知多ブロックフェスティバル分科会」
 - ・ボランティア情報コーナーをリニューアル
 - (市内企業よりパネル寄附)
- 20年
 - ・第1回ボランティアスタンプ記念研修(～H26)
 - (協力：大同特殊鋼(株) その他市内企業協力)
- 21年
 - ・第2次ボランティア・市民活動推進計画(21年～25年)
 - 「ちょこっこやってみん」発行
 - ・ボランティアセンターシンボルマーク10周年
 - 名称「こころん」に決定
- 22年
 - ・ボランティアセンター設立30周年記念式典
 - ・ボランティアセンターポスター創刊
 - ・第1回かえっこバザール開始(～現在)
- 23年
 - ・東日本大震災発生
 - 「コミュニティ再形成の元年」
 - ＊日本製鉄名古屋体育館にて支援助資受付(協力者959人)
 - ＊岩手県釜石市・山田町へ職員派遣(8日間)
 - ・東日本大震災復興支援活動開始(～R元年)
 - ・ボランティア広報誌「こころん」創刊
- 24年
 - ・第3次ボランティア・市民活動推進計画(26年～30年)
 - 「ちょこっこやろまい」発行
 - ・ボランティア交流会 再開(～現在)
- 26年
 - ・ボランティア相談員ログ始めました(～R6)
 - ・ボランティア・市民活動紹介冊子第1号発行
 - ・「災害時における相互応援及び地域交流に関する協定」を締結
 - 岩手県釜石市社会福祉協議会
 - ・東日本大震災復興支援活動
 - ＊この年から中学生も参加
- 27年
 - ・「地域包括ケアシステム」介護予防・日常生活支援 総合事業
 - ・ボランティア広報誌「こころん」フリーペーパー「ベコロス」に掲載(～R元年)
 - ・「災害時における相互応援及び地域交流に関する協定」を締結
 - 山形県山田町社会福祉協議会
 - ・「災害時における協力に関する協定」を締結
 - 東海青年会議所
 - ・ボランティアセンター35周年記念事業
 - 「ひとゆめつなぐボランティア交流会」
- 28年
 - ・ボランティアセンター登録説明会開始(～R5)
 - ・ボランティア・市民活動紹介冊子第2号発行
 - ・ボランティア相談出張窓口開所(市役所玄関ホール)
- 29年
 - ・「災害時における相互応援及び地域交流に関する協定」を締結
 - 山形県米沢市社会福祉協議会
 - ・こころんサポートセンター事業開始(有償ボランティア)
 - ※生活でのちょっとした困りごとを支援(草刈り・ごみ出しなど)
- 30年
 - ・ボランティア・市民活動紹介冊子第3号発行
- 令和元年
 - ・ボランティア相談出張窓口啓発(全4回)
 - ・第4次ボランティア・市民活動推進計画(元年～5年)
 - 「ちょこっこやろまい」発行
 - ・東日本大震災復興支援活動
 - ＊ラグビーワールドカップ開催に合わせてモニュメント作成
- 2年
 - ・ボランティアセンター設立40周年
 - ・おもちゃ図書館設立35周年
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大(事業中止・縮小)
 - ＊オンラインを取り入れた事業を実施。
 - ・ボランティア広報誌「こころん」40周年記念発行(～R4)
 - ・やってみよう！リモートボランティア交流会2020開催
- 3年
 - ・ボランティア交流会中止(新型コロナウイルス拡大のため)
 - ・「災害時における協力に関する協定」を締結
 - 東海商工会議所青年部
- 4年
 - ・Instagram 情報発信開始
 - ボランティア相談員による投稿
 - ・これからボランティア(市と協働事業)
 - ・やろまいでー(ちょこっこ活動)すぐできる活動の場を提供
- 5年
 - ・第5次ボランティア・市民活動推進計画(5年～9年)
 - 「ちょこっこやろまい」発行
- 6年
 - ・能登半島地震発生
 - ＊石川県輪島市町へ職員派遣(6・7・9月)
 - ・東海秋まつりボランティア相談啓発窓口開所
- 7年
 - ・東海市社会福祉協議会設立55周年
 - ボランティアセンター設立45周年
 - おもちゃ図書館設立40周年
 - ・「災害時におけるキッチンカーによる炊き出し等の実施に関する協定」を締結
 - 東海市イベント活動協力会、東海市
 - ・ボランティアアンケート実施
 - ＊あなたはどのタイプ？



動く・楽しむ つながる 広がり 活動の変化



令和7年度ボランティア登録者
87団体/1,386人 個人25人